#### 記載例 炉の設置(変更) 届

炉、厨房設備、温風暖房機、ボイラー 給湯湯沸設備、乾燥設備、サウナ設備 ヒートポンプ冷暖房機 火花を生じる設備、放電加工機

設置(変更) 届

苫小牧	苫小牧市消防長 様				
	届出者 住所 苫小牧市新開町2丁目12番7号				
			電話 0144-53-9119 氏名 苫小牧消防社		
		1	代表取締役 消防 太郎		
防	火	所在地	苫小牧市新開町2丁目12番7号 電話 0144-53-9119		
対 象 4	物	名 称	苫小牧消防社   主要用途   12項イ 工場		
設	置	用 途	作業所 床面積 ※○○m² 消防用 消火器10型 1本		
場場	所	構造	鉄骨造 階 層 1階 ※床面積は火気設備の届		
		設備の種類 鉄鋼溶解炉			
		着工 (予)	着工(予定) 〇〇年 〇〇月 〇〇日 完成(予定) 屋外の場合は記入不要。 日		
届	出	設備の概	設備の概要 アルミニウムを溶解する炉		
設(	備	使用する類			
		熱源、加	工液   種 類   13A (都市ガス)   使用量   20 m³ (N) / h		
		安全装	置別紙、概要表に記載		
取 扱	責	任 者	職氏名工場長消防二郎		
エ	事	住 所	苫小牧市 ○○町○○丁目○○番地 電話 ○○─○○○○		
施工	者	氏 名	○○株式会社 代表取締役 消防 三郎		
※受付欄			※経過欄		

#### 備考

- 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 2 「階層」の欄には、屋外に設置する設備にあっては「屋外」と記入すること。
- 3 「設備の種類」の欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
- 4 「設備の概要」の欄に書込めない事項は、別紙に記入し、添付すること。
- 5 「使用量」の欄には、火花を生じる設備及び放電加工機以外の設備にあっては、 1時間当たりの入力を記入すること。
- 6 当該設備の設計図書を添付すること。
- 7 ※印の欄は、記入しないこと。

# 炉・温風暖房機・ヒートポンプ冷暖房機・ボイラー・乾燥設備・給湯湯沸設備概要表

設備種別		■炉 □温風暖房機 □簡易ボイラー(□蒸気・□温水・□貫流) □ヒートポンプ冷暖房機 □乾燥設備 □給湯湯沸設備(真空式ボイラー含む)				
工事種別		□新設 □増設 □移設 ■取替え □改造 □その他				
設置場所		■ 1 階 □屋上 □屋外				
		入力合計 ■350kW未満 □350kW以上				
設置室	構造	不燃区画 [□有り ■無し] 壁 [□耐火 □準耐火 □不燃 ■その他] 床 [□耐火 □準耐火 □不燃 ■その他] ア井 [□耐火 □準耐火 □不燃 ■その他] 明口部 [□防火設備 ■その他] ケーブル貫通処理 (□不燃材料による処理 ■その他) 換気 (■自然換気 □機械換気 □FD付)				
	内装	壁 [□不燃材料 □不燃認定材料 ■その他 □無し] 天井 [□不燃材料 □不燃認定材料 ■その他 □無し]				
	燃焼空気	■自然吸気 給気口位置(床面から <u>0.3</u> m) □給気ファン 給気ファン位置(床面から <u>m</u> )				
設備概要		製造社( <u>苫小牧消防本部社</u> ) 機器型式( <u>119型</u> ) 大きさ [奥行 <u>2</u> m×幅 <u>2</u> m×高さ <u>1.5</u> m] (据付面積 <u>4</u> m²)				
熱源種別		□電気 ■都市ガス(□6B ■13A) □LPG □まき □石炭 【少量危険物の届出が必要な場合 □灯油 □軽油 □重油 □その他() 1 日当たりの燃料消費量又は内				
<i>-</i>	入力	<u>255</u> kW タンクの燃料の数量				
安	全装置	■ 炎監視装置 □空だき防止装置 □自動温度調節装置 重油:400ℓ以上 □ 過熱防止装置 □停電時安全装置 ■自動ガス遮断装置 □耐震装置 [製造会社( )型式( )設置位置 □本体 □室内]				
燃	料配管	材質(■鋼管 □銅管 □その他) 配管方法(■露出 □埋設 □隠ぺい)				
,	ト 料 ンク	■無し □屋外 □本体内蔵 □屋内…たき口までの距離(m) メインタンク(0) サービスタンク(0)				
	! 突 気筒等	排気温度(□ 2 6 0 ℃以下 ■ 2 6 0 ℃を超える) 構造(□給排気筒 ■ダクト □排気筒) 排気方式(■機械 □自然) 貫通部構造(□めがね石 ■金属以外の不燃材料 □その他) トップ構造[□多翼型 □H型 ■陣笠 □ベンド □ストレート □エルボ 4 5 ° □エルボ 9 0 ° □ウォールトップ □その他()]				
耐震措置		機器の固定方法 ■アンカーボルト □溶接 □その他( ) 機器の配管の接続方法 ■溶接 □ねじ接続				
消火設備		■消火器 □大型消火器 □不活性ガス消火設備(□固定式 □移動式) □ハロゲン化物消火設備(□固定式 □移動式) 粉末消火設備(□固定式 □移動式) □その他()				
備	考					

※項目中□欄は、該当するものをレ印又は■でアンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

### 記載例 ボイラーの設置(変更)届

大気圧式 (無圧式) 及び 真空式ボイラーは<u>給湯</u> <u>湯沸設備</u>に該当する。

炉、厨房設備、温風暖房機、ボイラー 給湯湯沸設備、乾燥設備、サウナ設備 ヒートポンプ冷暖房機 火花を生じる設備、放電加工機

設置(変更) 届

苫小牧市	苫小牧市消防長 様					
	届出者 住所 苫小牧市新開町2丁目12番7号					
			電話		-53-9	1 1 9
			<b>氏</b> 名	苫小牧消 代表取締	的任 役 消防	太郎
防火	所在地	苫小牧市新開町2丁	目12番7		<u> </u>	
対 象 物	名 称	苫小牧消防社			主要用途	15項 事務所
設 置	用 途	工場	床面積	<b>※</b> ○○m²	消防用	消火器 10 型 1 本
場所	構造	鉄骨造	階層	2階	1.	漬は火気設備の届出
	設備の種類	設備の種類 温水ボイラー の留意事項【別紙】を参照。 屋外の場合は記入不要。				
	着工 (予定	着工 (予定) 〇〇年 〇〇月 〇〇日 完成 (予定) 〇〇年 〇〇月 〇〇日				
届 出	設備の概要 建物の暖房用のボイラー					
設 備	使用する燃	$\mathbf{H}$ 相 相 $\mathbf{H}$ 作用量 $\mathbf{H}$ 500/b $\mathbf{H}$				
	熱源、加口					
	安全装	置 別紙、概要表に	記載			
取 扱 責	任 者	職氏名消防	二郎			
工事	住 所	苫小牧市 ○○町○	OT目OC	番地電	話 〇〇—	0000
施工者	氏 名	○○株式会社 代表	取締役 消	防三郎		
※受付欄						

#### 備考

- 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 2 「階層」の欄には、屋外に設置する設備にあっては「屋外」と記入すること。
- 3 「設備の種類」の欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
- 4 「設備の概要」の欄に書込めない事項は、別紙に記入し、添付すること。
- 5 「使用量」の欄には、火花を生じる設備及び放電加工機以外の設備にあっては、 1時間当たりの入力を記入すること。
- 6 当該設備の設計図書を添付すること。
- 7 ※印の欄は、記入しないこと。

## 炉・温風暖房機・ヒートポンプ冷暖房機・ボイラー・乾燥設備・給湯湯沸設備概要表

設備種別		□炉 □温風暖房機 ■簡易ボイラー(□蒸気・■温水・□貫流) □ヒートポンプ冷暖房機 □乾燥設備 □給湯湯沸設備(真空式ボイラー含む)
工事種別		■新設 □増設 □移設 □取替え □改造 □その他
設置場所		■ 2 階 □屋上 □屋外 大気圧式 (無圧式) 及び
設 置	構造	入力合計       □350kW未満       ■350kW以上         不燃区画[■有り □無し]       湯沸設備に該当する。         壁[□耐火 □準耐火 ■不燃 □その他]       入力合計 350kW以上の場合、不燃区画室を必要とする場合があります。         大一ブル貫通処理(■不燃材料による処理 □その他)       こその他)
室	内装	換気 (■自然換気 □機械換気 ■FD 付) 壁 [□不燃材料 ■不燃認定材料 □その他 □無し]
	燃焼空気	天井 [□不燃材料 ■不燃認定材料 □その他 □無し]         ■自然吸気 給気口位置(床面から 0.3 m)         □給気ファン 給気ファン位置(床面から m)
設	備概要	製造社( <u>苫小牧消防本部社</u> ) 機器型式( <u>119型</u> ) 大きさ [奥行 <u>2</u> m×幅 <u>2</u> m×高さ <u>2</u> m] (据付面積 <u>4</u> ㎡)
熱	源種別	□電気 □都市ガス(□6B □13A) □LPG □まき □石 【少量危険物の届出が必要な場合】 ■灯油 □軽油 □重油 □その他() 1日当たりの燃料消費量又は内蔵タ
į	入 力	k W ンクの燃料の数量
安	全装置	■炎監視装置 ■空だき防止装置 □自動温度調節装置
燃	料配管	材質(■鋼管 □銅管 □その他) 配管方法(■露出 □埋設 □隠ぺい)
燃 タ	ド 料 ンク	<ul><li>□無し ■屋外 □本体内蔵 ■屋内…たき口までの距離(3m)</li><li>メインタンク( 490 ℓ) サービスタンク( 100 ℓ)</li></ul>
	〔  突 ·気筒等	排気温度(■260℃以下 □260℃を超える) 構造(□給排気筒 □ダクト ■排気筒) 排気方式(■機械 □自然) 貫通部構造(□めがね石 ■金属以外の不燃材料 □その他) トップ構造[□多翼型 □H型 □陣笠 □ベンド □ストレート □エルボ45° □エルボ90° ■ウォールトップ □その他()]
耐	[震措置	機器の固定方法 ■アンカーボルト □溶接 □その他 ( ) ( ) ( 機器の配管の接続方法 ■溶接 □ねじ接続
消火設備		■消火器 □大型消火器 □不活性ガス消火設備(□固定式 □移動式) □ハロゲン化物消火設備(□固定式 □移動式) 粉末消火設備(□固定式 □移動式) □その他()
備	考	

※項目中□欄は、該当するものをレ印又は■でアンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

## 火気設備の届出の留意事項

※床面積

- ・火気設備を設置する室の面積を記入してください。
- ・大規模な工場などの 200 m<sup>2</sup>以上の区画室に設備を設置する場合は、消防本部予防室 に確認後に記入してください。
- ※屋外の場合は記入不要

#### 火気設備の届出の添付図書

添付図書	<ul> <li>① 概要表</li> <li>② 建物の案内図</li> <li>③ 建物の平面図(設備の設置位置の明示)</li> <li>④ 設置室の詳細図(壁や天井、扉や窓の構造(防火設備等))</li> <li>⑤ 設備仕様書</li> <li>⑥ 消火設備等の配置図(消火器、粉末消火設備等)</li> <li>⑦ その他必要と認められるもの</li> <li>※同一室内に他の火気設備(炉・ボイラー・給湯設備等)が設置されている場合は、その位置・種別・能力を明示してください。</li> </ul>
	V/LUE・性が、能力を切かして、ためい。
提出部数	消防側と届出者側で届出書を保管するため、正・副の2部提出してください。

#### 火気設備概要表の記入要領

設備種別	大気圧式(無圧式)及び真空式ボイラーは構造上、給湯湯沸設備に該当します。	
工事種別	新設 従前設けられていないものを新たに設けることをいう。 増設 構成機器・装置等の一部を付加することをいう。 移設 構成機器・装置等の全部又は一部の設置位置を変えることをいう。 取替え 構成機器・装置等の一部を既設のものと同等の種類、性能・機能等 を有するものに交換することをいう。 改造 構成機器・装置等の一部を付加若しくは交換し、又は取り外して設 備の構成、機器、性能を変えることをいい『取替え』に該当するも の除く。 その他 上記以外。	
設置室	同一室内の設備入力合計が350kW以上となる場合は、不燃区画室を必要とする場合があります。 不燃区画室の内装にて不燃認定材料を使用している場合は、不燃認定番号等を平面図に明示するか資料を添付してください。	
設備概要	危険物を燃料とする場合、1日当たりの燃料消費量又は内蔵タンクの燃料の数量が指定数量の5分の1以上となる場合には、『少量危険物貯蔵、取扱届』の提出が必要となります。 ※『少量危険物貯蔵、取扱届』の提出が必要な場合の例 重油:4000以上 灯油、軽油:2000以上	